

# 社協通信

皆実学区社会福祉協議会



第3号 平成29年5月1日 発行 皆実学区社会福祉協議会

発行責任者 市川 宏

## 第2回皆実学区交流会ヒエスタ開催される

参加者 町民約120人も

平成29年3月25日(土)皆実小学校体育館において、青少協主催の第2回学区交流ヒエスタが行われました。子供や大人、老人約120人くらいの参加があり大成功でした。今回は、社協と老人会共催でさらに児童館のお手伝いもあり大変助かりました。老人会には「昔遊び」を担当していただきました。事前に、児童館でPRし、希望調査をしてから概数調査をしたのが、成功策だったと思います。ゲーム種目は、玉入れ、ボール投げ、ボール蹴りでいずれも点数制で勝負し、商品をもろうというゲームコーナー、昔遊びでは、コマ、けんだま、お手玉と綾取りをしました。



上はたまいれ



上はボール蹴り



上は紙飛行機飛ばし

最後に、全員による紙飛行機づくりをしての飛ばし競技をしました。



上はボール投げ



上は綾取り

参加者は、皆んな来年も来たいと言って楽しみにしていたようでした。来年も是非やりたいとスタッフ全員も言っていました。みなさん来年も来てくださいね。来年も、沢山のお土産がありますよ。

## 老人クラブ恒例の「ニュースポーツ大会」を実施 !!

交流会ヒエスタの次の日、26日(日)に同じ皆実小学校体育館で、学区老連が恒例の「ニュースポーツ」大会を行いました。

最初の開会のあいさつ皆実学区の老連の木原和子会長さんから始まり、(右端の写真は会長のあいさつです)2種類の競技がはじまりました。



2つの競技は、毎年行うクオリティ（輪投げ）とフロアーカーリングです。

みなさんは、ニュースポーツといってももう4年もやっている協議のため慣れたものです。右の写真はクオリティの様子ですが、点数の多い真ん中の軸に輪を3人が投げて輪の入った点数の3人の点数を合計して対戦します。

この競技には、各町の老人クラブから13チームが出場しました。楽しそうにワイワイなごやかに頑張っていました。



左の写真は、フロアーカーリングの競技中の写真です。

氷の上でやるカーリングとは少し異なり、3人一組で交互にコロ付のものを投げますが、最初の一投を親として、その親に一番近いものの数の勝負で勝ち負けを争います。

氷の上のカーリングの中心マークに当たるものが、フロアーカーリングでは親に当たります。

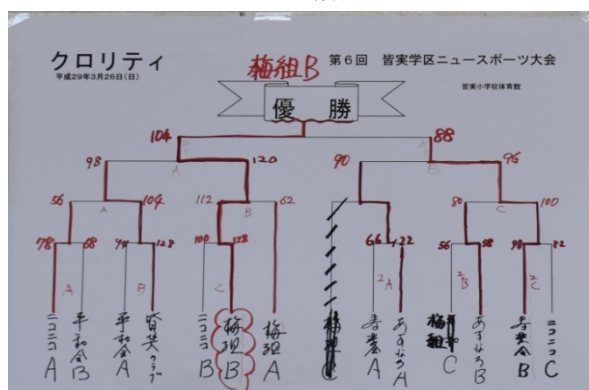
フロアーカーリングの参加チームは、各町内会の老人クラブから10チームが出場しました。

時には、どちらのチームのカーリングが親に近いかの判定にスケールで測るような微妙な位置になることもあり、審判を悩ませることもあるます。

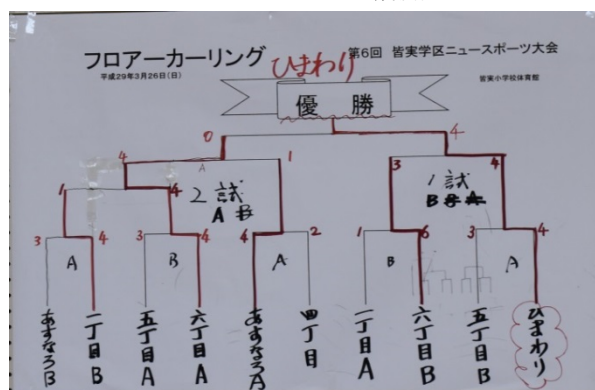
成績結果は、会場に張り出された（下の写真）のように、クオリティの優勝チームは「梅組（5丁目）」で、フロアーカーリングは「ひまわり（東部町内会）」でした。この2チームは南区大会に出場資格獲得です。



下はクオリティの成績結果です



下はフロアーカーリングの成績結果です



(写真提供 馬明 幸 さん)